



新がたコロナウイルスに感せんして 感じた思いやりの心

瀬高小学校 三年 すえよし さくら子

世界中が新がたコロナウイルスのうずまきこまれて、もう三年になろうとしています。わたしたちの入学式のときは、もうみんなマスクをしていて、ちゃんとした自こしようかいができずに、ざんねんでした。一、二年生のときは新がたコロナウイルスにかからずすこせましたが、手あらいもうがいつもつかりがらばつたのに、三年生の一学期に新がたコロナウイルスにかかってしまいました。さいしよに三さいの弟が一週間後にわたし、そしてお母さんがかかりました。あんなに学校でも家でも気をつけていたのに、のどはいたいし、ねつは出るし、なんだかとてもくやしかったです。何より家から出られなかつたのがつらかつたです。弟は、元気になつても外に出られないので、すこくなくきました。お母さんが「お友だちや近所の人にウイルスをうつさないようにすることが、今わたしたちにできる大切な思いやりなんよ。」と言いました。家の中にとじこもつ

ている間、先生がおばあちゃんの家までとどけ物をしてくださり、はげましの言葉もでん言してくださいました。とてもうれしかつたです。買い物や食事はおばあちゃんのとどけてくれました。お父さんとはまどごしにお話しました。長い三週間でしたが、お医者さんや、いろんな人のきょう力や思いやりのおかげで、わたしたちは元気になることができました。

今日も新がたコロナウイルス感せん者〇人とか、死者〇人とかテレビでいっています。何より大切な命なのに、その命がうばわれるのはとても悲しいです。早く新がたコロナウイルスがなくなり、マスクをしないで、お友だちとべん強したり遊んだりしたいです。

三週間後元気になつて登校したわたしですが、すこくうれしかつたことがあります。それはクラスのみんながやさしく、思いやりのえ顔でむかえてくれたことです。そんな友だちを、わたしも大切にしていきたいです。



【先生のコメント】
コロナ禍になり、約三年が経ちました。学校生活でも活動が制限され、思うような日常が送れないことが多かつたですね。そんな生活の中で桜子さんは、自分の経験から感じた周りの人の思いやりの心について、よくふり返りながら書くことができましたね。思いやりの心は、見えないもので気づきにくいですが、周りにあふれています。これからも、周りの人の思いやりに気づく心を大切にしていってほしいと思います。

人権相談(無料)

「ひとりでも悩んでいませんか」

【人権何でも相談所】

- 日時 1月18日(水)午後1時～4時
- 場所 みやま市立図書館
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みごとなど

【女性相談所】

- 日時 1月12日(木)午前10時～午後3時
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 原則として女性からの相談
- ※女性の人権擁護委員が相談に応じます

【常設相談】

- 時間 午前8時30分～午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談担当者 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号 (TEL)0570-003-110
- 福岡法務局柳川支局(TEL)72-2640)



人権イメージキャラクター
AKEN さん 福岡市人権擁護委員会

みんなの幸せ願って

みやまに生きる人

vol.141

メンバー
株式会社MONPeeP

山井 淳矢さん

冷凍設備を中心に、空調設備などの設置や修理も行う山井さん。「閃き」を大切にしている山井さんは、門に人と書くその漢字から「門」monと英語のスラングで「人」を意味する「pee」をとり、会社名を「MONPeeP」と名づけた。

私たちに身近な「冷凍設備業」
冷凍設備業に従事するようになったきっかけはアルバイト。3日間の予定だったが、気づけば7年が経っていた。「冷凍設備業は聞き慣れない業種だけど、人が入るような大型冷凍庫の他にも、スーパーの肉や野菜、冷凍食品が並ぶ冷凍・冷蔵庫を扱い、車の部品工場にも仕事に行きます。実は、皆さんにとって身近な業種で、

なくてはならない仕事。やりがいを感じます」
モットーは、きれいな仕事
「今は独立して二人で仕事をしているので、現場によっては同業者に応援をお願いします。その時に、職人が工具や材料がどこにあるのか一目で把握できるように整頓したり、一緒に作業した人の工具も綺麗に手入れして返すようにしています。応援に来てくれた職人が、気持ちよく仕事をして帰って欲しい。それから、身だしなみにも気を使っています。ロボロの作業着より、身なりを整えて現場に伺うことが依頼者への礼儀だと思います」
海外出張で得たもの
山井さんは、フットワークも軽く海外にも飛び出す。

「以前勤めていた会社の縁で、タイと中国に出張しました。海外出張は、言葉の壁や時間との勝負で大変なことも多いけど、その分学ぶことも多いです。不安げだった現地の同業者から、実際に修理してみせることで信頼を得た経験は自信にもなりました。これからは海外出張に積極的に挑戦して、スキルを磨いていきたいです」



やまい じゅんや
キャンプ、磯釣り、バイクが趣味です。
【好きな言葉】
人生みな我が師なり
【みやま市にひとこと】
子どもと地域の方々との仲がいいところ、他県へのアクセスが非常に便利なお店が好きです。

みやま文芸

青門瀬高俳句会

- 一枚の空一枚の冬干湯 吉岡 木骨
- 祝われる米寿の膳や松葉蟹 池田 芳水
- 杖離す日を目指し歩す初詣 高果 幸子
- 「はいはい」とレンジへ返事年つまる 阿部 和子
- 人の声かはた風音か芒原 戸塚貴美代
- 冬麗の稜線白き光放つ 橋本美恵子
- 冬晴や空腹感の心地よし 河野 辰男

みやま短歌会

- いつの日かこの世の生が終わること 宮地幸二郎
- このころの隅にその場与えて 神苑に生れし蝉か鳴き澄める 声も親しく妻と詣でぬ 西村 嘉彦
- 恐らくは最後となるらむ免許更新 思ひは巡る車なきくらし 松尾 逸央
- 語らずも足りうる日々か老い夫と 食ふる屋敷の豆腐にオクラ 三栗野ミユキ
- 真夜覚めて「おとうさん」と呼んでみる 逝つてひと月まだ居る気がして 中村 智美

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。